

新宿区民オペラ20周年記念公演

A.デュマ・フィス原作/F.M.ピアヴェ台本/G.ヴェルディ作曲

椿姫

全3幕原語上演・字幕付

指揮:草川正憲 演出:園江 治

8月30日出演者

西本真子

上本訓久

今井俊輔

片岡ひろみ

船津之莉

新後閑大介

中原和人

石井一也

藤原 啓

8月31日出演者

福田祥子

伊藤 潤

安藤常光

正岡美津子

谷 真希

飯沼友規

香月 健

奥村泰憲

金子亮平

両日出演者

細谷正文

合唱:新宿オペラ合唱団

演奏:新宿オペラ管弦楽団

主催:新宿区民オペラ

後援:新宿新聞社

2014年

8月30日(土)開場17:30開演18:00 8月31日(日)開場13:30開演14:00

日指定・全自由席

¥5,000

新宿文化センター・大ホール

◆チケット予約・お問い合わせ◆ 新宿区民オペラ事務局 Tel/Fax:03-3952-7894 Web:www.shinjuku-opera.com Mail:sonoe@shinjuku-opera.com

◆チケットぴあ◆ web.http://pia.jp/t/ tel.0570-02-9999 Pコード P-227-126

■物語

第1幕 パリの社交界の華ヴィオレッタのサロンは、今宵もパーティーが開かれている。パリ留学中のアルフレードは、ガストン子爵の紹介でヴィオレッタに引き合わされ、かねてから抱いていた愛を打ち明ける。胸の病に侵され人生を虚しく感じていたヴィオレッタだったが、アルフレードの真摯な愛を受け入れるのだった。

第2幕1景 社交界から身を引くアルフレードとパリ郊外の別荘で静かな日々を送るヴィオレッタのもとへアルフレードの父ジェルモンが訪れ、人の道に外れる同棲生活を諫め、婚約した娘のためにも息子と別れてくれと懇願する。アルフレードを愛する故に身を引く決心をしたヴィオレッタは、嘘の手紙を書き残して去る。そうとは知らぬアルフレードは裏切られたと勘違いし、逆上して彼女の後を追う。

第2幕2景 社交界に復帰したヴィオレッタは、フローラの仮面舞踏会に招待される。ヴィオレッタはアルフレードがカードゲームをしているのを知ると帰ろうとするが、同行のドゥフォーール男爵がアルフレードにカードの勝負を挑む。カードに勝ったアルフレードは、ヴィオレッタにかつてのお返しだと大金を投げつけ、人々から猛烈な非難の声を浴びその場を去る。

第3幕1景 病魔に侵されたヴィオレッタは社交界からも身を引く、死の影に怯えながら貧しく暮らしている。外からは華やかなカーニバルの歌声が聞こえ、ベッドに身を横たえた彼女の胸に去来するのは、愛するアルフレードとの楽しかった思い出だった。そこへ侍女のアンニーナがアルフレードの訪問を告げる。再会の喜びを味わうヴィオレッタ、その瀕死の枕元には後悔の念にかられるジェルモンの姿も。そして医師グランヴィールによって臨終の合図が示される。

合唱：新宿オペラ合唱団
演奏：新宿オペラ管弦楽団

■音楽スタッフ

副指揮：平野桂子・福田夏絵
練習ピアニスト：岩崎能子・松井理恵
竹之内純子・岩淵 静・河野真有美

■舞台スタッフ

美術：淡路公美子
照明：(有)日高舞台照明
大小道具：(有)ニケステージワークス
衣裳：五十嵐和代
ヘアメイク：(有)アトリエプラナフォンテ
字幕：升水弘之
舞台監督：八木清市
宣伝美術：パク
協力：宮本風香
制作：園江詩子
制作協力：悠久堂企画室

指揮 草川正憲



演出 園江 治



■キャスト 8月30日(土)

ヴィオレッタ

西本真子



アルフレード

上本訓久



ジェルモン

今井俊輔



フローラ

片岡ひろみ



アンニーナ

船津之莉



ガストン

新後閑大介



ドゥフォーール

中原和人



ドゥビニー

石井一也



グランヴィール

藤原 啓



■キャスト 8月31日(日)

ヴィオレッタ

福田祥子



アルフレード

伊藤 潤



ジェルモン

安藤常光



フローラ

正岡美津子



アンニーナ

谷 真希



ガストン

飯沼友規



ドゥフォーール

香月 健



ドゥビニー

奥村泰憲



ジゼル

細谷正文



グランヴィール

金子亮平



■両日出演

ジゼル

細谷正文



グランヴィール

金子亮平



新宿文化センター
東京都新宿区新宿6-14-1
Tel.03-3350-1141
JR新宿駅東口より徒歩14分
東新宿駅A1出口より徒歩5分
新宿三丁目駅E1出口より徒歩5分

